



2020 年 5 月 20 日

報道関係の皆さま

株式会社 百五銀行
株式会社 百五総合研究所

令和元年度 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」の表彰について

株式会社百五銀行（頭取 伊藤 歳恭）と、株式会社百五総合研究所（代表取締役 荒木 康行）は、5 月 19 日（火）、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局より、2018 年 10 月に三重県鳥羽市にて開催した「SAKE selection」が『令和元年度 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」』として表彰されましたので、下記のとおりお知らせします。

「SAKE selection」は地域資源のブランディングをとおして、地域活性化を図ることを目的としています。今回は、「生産性の高い、活力に溢れた地域経済実現に向けた総合的取組（地域の魅力のブランド化）」として表彰を受けました。

今後も百五銀行グループは、地域の資源の活用や情報発信を通じて、地域の価値創造に繋がる事業に積極的に取り組んでいきます。

記

1 「SAKE selection」について

「SAKE selection」は、世界有数のワインコンクール団体である「ブリュッセル国際コンクール」と百五総合研究所が創設した日本酒のコンクールです。

伊勢志摩サミットの開催により世界から注目を浴びた日本酒の盛り上がりを一過性のものとせず、地域資源のブランディングを通じて、農業や観光といった地域性の高い産業への貢献・地域活性化を図るために創設し、2018 年 10 月、その第 1 回を三重県鳥羽市にて開催しました。

コンクールの様子やエクスカーション（地域視察会）の様子は、審査員の SNS などをとおして世界に向けて発信され、また、受賞酒については世界各地でプロモーションを実施し、販路拡大機会の創出や海外バイヤーとの商談機会を創出しました。第 2 回は本年 10 月、兵庫県にて開催される予定です。

2 「第 1 回 SAKE selection」の概要

開催日程	2018 年 10 月 10 日～13 日
開催場所	タラサ志摩ホテル&リゾート（現 TAOKA 志摩）：三重県鳥羽市
主催	ブリュッセル国際コンクール（Concours Mondial de Bruxelles） 事務局：株式会社百五総合研究所
審査員	世界 19 か国 35 人のジャーナリスト・ソムリエ等の専門家
後援	外務省、農林水産省、日本政府観光局（JNTO）、日本貿易振興機構（JETRO） ほか
協賛	株式会社百五銀行、株式会社半泥子廣永窯、株式会社赤福 ほか
出品酒蔵数	277 酒蔵
出品本数	617 本

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社百五総合研究所 高橋・河野 TEL（059）228-9105

※ なお、本資料は、三重県政記者クラブと名古屋金融記者クラブで配布しております。

●.「地域資源を用いた新ビジネス創出による共有価値の創造～日本酒コンクール『SAKE selection』の新設」 (百五銀行)

1. 取組の概要

- ・「酒づくり」や「伊勢志摩サミットのレガシー」といった無形の文化資源を組み合わせ、「SAKE selection(サケ・セレクション)」という新たな国際的な日本酒コンクールの設立を通じて、地域の共有価値の創造を支援。

2. 取組を始めるに至った経緯、動機等

- ・伊勢志摩サミットの開催により、三重県が国際的に知名度を高め、乾杯酒や食中酒として提供された県内の酒蔵の銘柄は注目を集めた。この盛り上がりを一過性のものとせず、日本酒という地域資源のブランディングを通じた販路拡大支援や事業創造を行うことにより、農業や観光といった地域性の高い産業への貢献・地域活性化を図る。

3. 具体的な取組内容

- ・世界最大規模のワインコンクール「ブリュッセル国際コンクール(CMB)」へのトップセールスにより、新たに日本酒部門の創設・誘致を実現。「SAKE selection」として、2018年10月に三重県鳥羽市で第1回を開催し、百五銀行グループが包括的な支援を実施(運営事務局:百五総合研究所)。
- ・開催にあたり、百五銀行グループ、三重県、関係市町・観光協会、日本貿易振興機構等を構成委員とする実行委員会を組織すると共に、関係機関との調整を実施。また、外務省や農林水産省のほか、各種企業・団体・報道機関等に後援を依頼し、情報発信等における連携態勢を構築。
- ・世界19か国35名の審査員団による厳正な審査を経て、計155銘柄の受賞酒が誕生。「部門トップ賞(トロフィー賞)」「7酒蔵」及び「最多受賞酒蔵」(1酒蔵)を受賞した酒蔵に対しては、コンクール開催以降、ブリュッセル市庁舎での受賞セレモニーにて欧州メディアへの発信やパリで開催される欧州最大規模の酒類展示会「WINE PARIS」での出展ブース提供など、販路拡大機会の提供や海外バイヤーとの商談機会の創出を支援。
- ・コンクール審査会にあわせて、審査員団に対し地域の酒蔵や観光名所の案内のほか、海女小屋体験や食事会における地域伝統工芸品のPR機会を創出することで、インフルエンサーによる地域観光資源の海外プロモーション機会を創出。

4. 実施にあたり工夫した点(金融機関の役割・推進体制面・PDCAサイクル面等)

- ・出品酒募集活動にあたり、新設かつ後発のコンクールにつき知名度が不足していたため、全国の広い地域への訴求力という点では多くの課題があった。「SAKE selection」という日本酒コンクールの特徴を「受賞した際の具体的かつ実効性のある販路拡大支援」と定め、業界全体の発展と地域産業への波及という理念に共感する主体(業界団体・関連省庁・大学・地域金融機関等)との連携や地域銀行間のネットワークの活用により、全国各地の酒蔵に対してアプローチを行った。

5. 取組の成果(取組中の場合は目標値・KPI等)

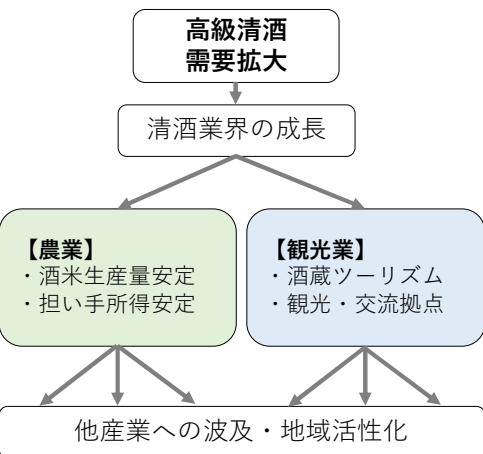
- ・コンクールに全国45都道府県より617銘柄が出品。コンクール後のプロモーション活動を通じて、複数の酒蔵と海外バイヤーとの商談機会を創出。
- ・「SAKE selection」の新設・開催を契機に、三重県や関係市町など地域内ネットワークの中で、新たに複数の海外へのプロモーション事業等、各種の派生事業が誕生。第2回「SAKE selection」は2020年に、日本一の日本酒製成数量を誇る兵庫県にて開催することでほぼ決定しており、現在詳細について協議を進めている。初回を上回る1,000銘柄以上のエントリーを目指す。

6. スキーム図等

<取り組みのきっかけ>



<効果の波及イメージ>



表彰式(在東京ベルギー大使館)



受賞アワード(ブリュッセル市庁舎)



<「SAKE selection」取組のねらい>

